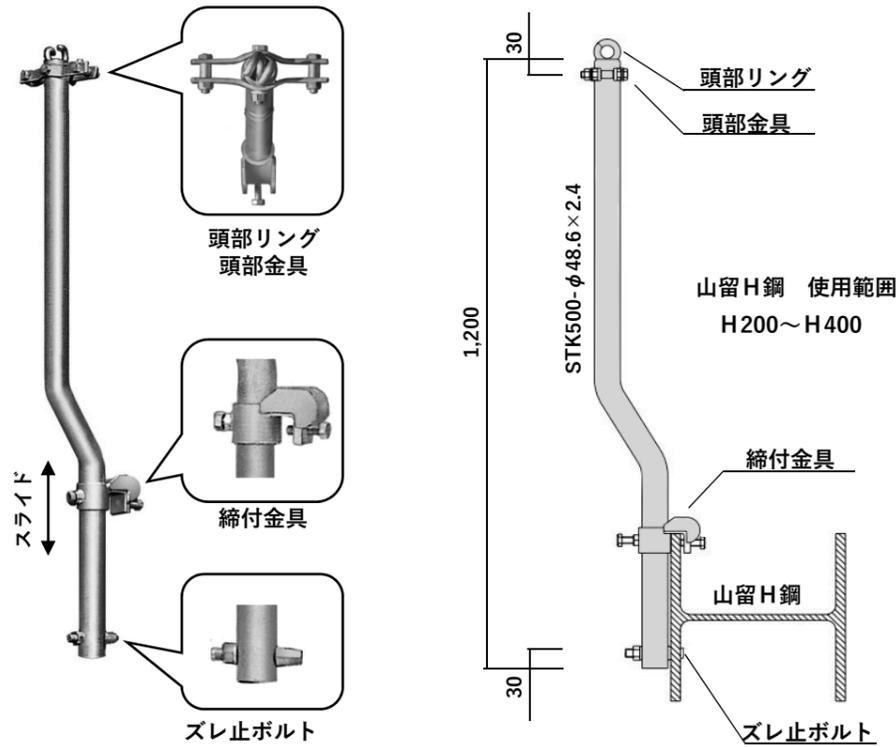
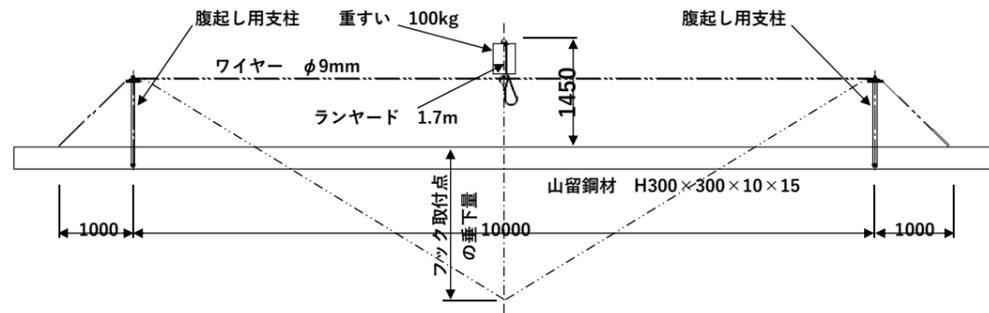


腹起し部の山留鋼材に使用する手摺柱、親綱支柱です。

腹起し用支柱 AZ-1200 5.2 kg

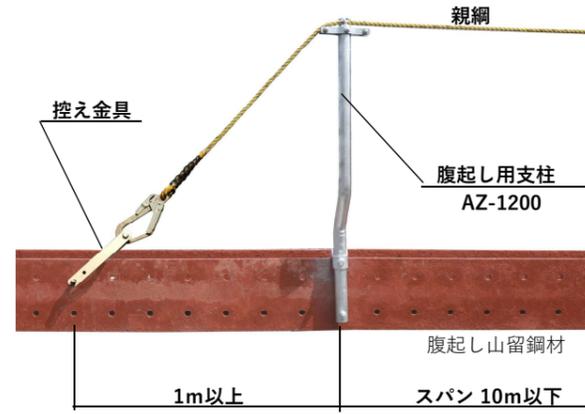


落下阻止試験 (100 kg)



|    | 支柱の脱落   | ワイヤーの脱落 | フック取付点の垂下量 | 支柱の変形角度 |
|----|---------|---------|------------|---------|
| ①  | 無し      | 無し      | 170mm      | 0°      |
| ②  | 無し      | 無し      | 350mm      | 0°      |
| ③  | 無し      | 無し      | 220mm      | 0°      |
| 基準 | 脱落しないこと | 脱落しないこと | 2.1m以下     | 45° 以下  |

■ 親綱支柱として使用の場合



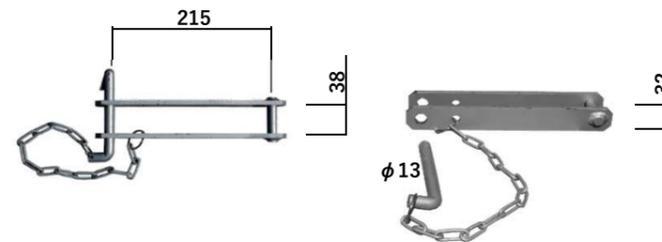
◆ 親綱を設置する際の注意点

- 支柱間隔は10m以下とする。
- 必ず控えを設ける。
- 控えの角度は45° 以下にする。
- 控えは衝撃に耐える堅固な物に設置する。
- 一度落下阻止した支柱の再使用は厳禁。

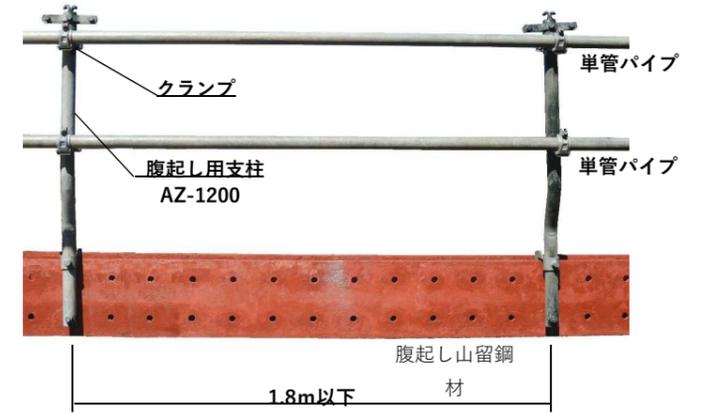


控え金具 AZ-12 0.94 kg

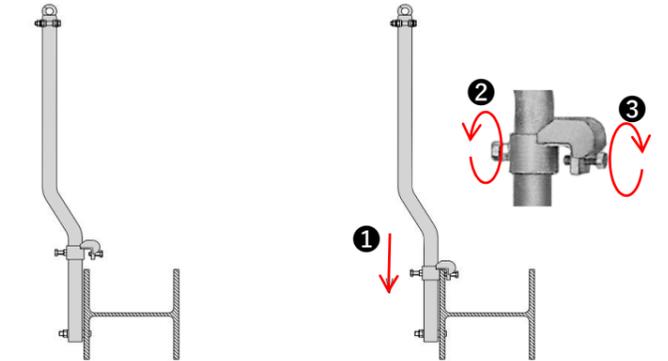
腹起し用支柱に親綱を張る際の控えに使用します。



■ 手摺柱として使用の場合



◆ 取付方法



① 山留H鋼の穴に、ズレ止ボルトを差し込む。

② 締付金具で固定する。

- ① スライドさせ
- ② スライドを固定
- ③ 締め付ける